

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人 太鷲会

平成27年度

社会福祉法人太鷲会 事業報告書 目次

1. 平成27年度まとめ・・・・・・・・・・ 1
2. 法人事業概要・・・・・・・・・・ 3
3. 理事会状況・・・・・・・・・・ 4
4. 評議員会状況・・・・・・・・・・ 6
5. 職員状況・・・・・・・・・・ 8
6. 職員会議・・・・・・・・・・ 9
7. 委員会活動・・・・・・・・・・ 10
8. 職員研修・・・・・・・・・・ 11
9. 特別養護老人ホームうさぎ事業・・・・・・・・ 12
10. ショートステイうさぎ事業・・・・・・・・ 13
11. グループホームうさぎ事業・・・・・・・・ 14
12. デイサービスうさぎ事業・・・・・・・・ 15
13. 居宅介護支援事業所うさぎ事業・・・・・・・・ 16

1. 平成27年度まとめ

平成27年度は、各サービス共に、大きな課題として「サービスの質の向上」と「稼働率のアップと安定」を目標にサービスの提供に努めました。まず、「サービスの質の向上」については、開設1年目に感じた、介護のプロとしての知識や技術が不足している事に対し、研修の機会を増やすと共に、カンファレンスや小さな会議などを多く持つことにより、職員や入居者様、利用者様が不安に思っている事を共有し、それを迅速に解決することが出来るような雰囲気を作ることが出来た。また、入居者様、利用者様に喜んでいただけるようなイベントなど考え、積極的に実施することが出来るようになった事も、非常に大きな成果であったと思う。

次に、「稼働率のアップと安定」については、入居サービスは、入院者が多かった事と入院期間が長くなってしまったことで、稼働率が不安定になってしまった。また、退居になられた後の空床期間が一週間程度かかっている事も、稼働率を低下させる要因となってしまった。

特に、グループホームに関しては、姫路市の他の事業所と同様に、入居申込者も少ない状態で、今後の入居者の選定という面に関しても不安を感じる一年となった。

特別養護老人ホームに関しては、入居申込者は多いが、どの入居申込者も他施設を重複して申し込まれている状況であると共に、近隣に新たに特別養護老人ホームが設立される計画もある中で、当施設を選んでいただけるよう、気を引き締めて初心を忘れずに、一つひとつを丁寧に取り組んでいく必要性を感じている。

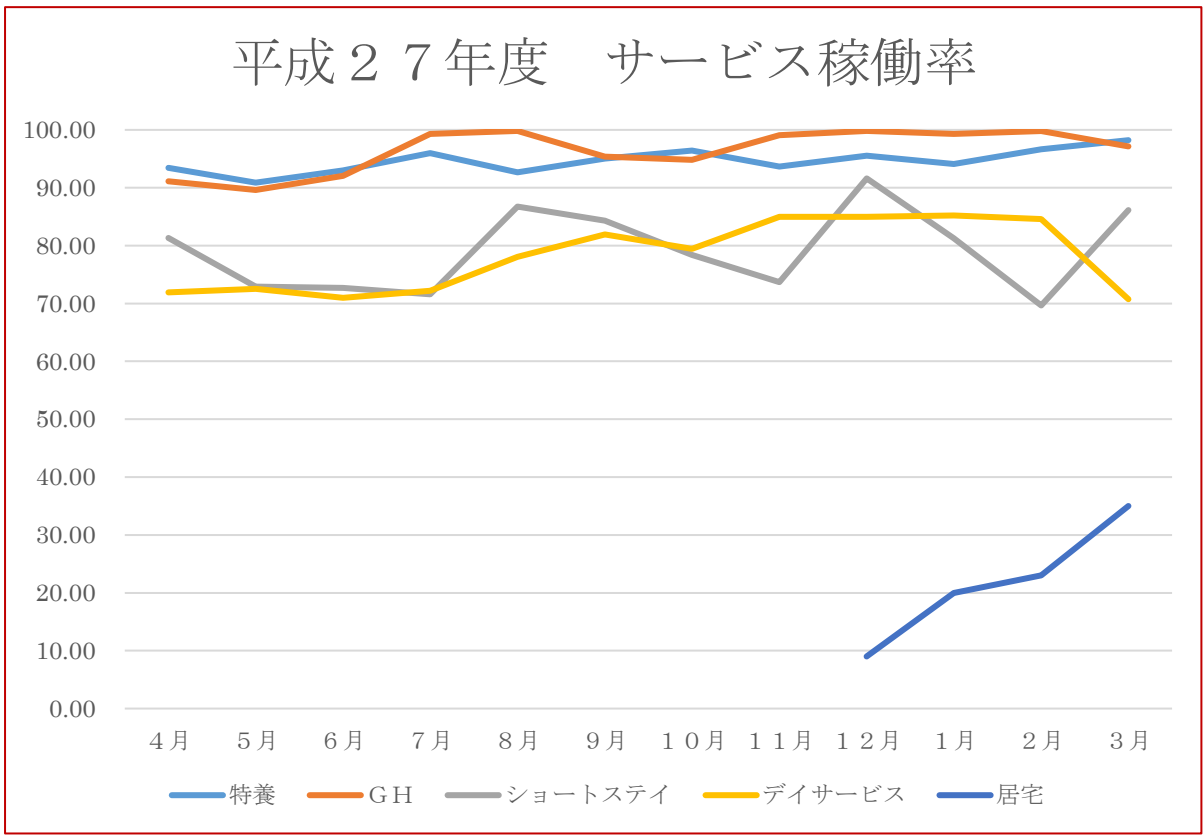
居宅系サービスでは、ショートステイに関しては、リピート利用の方も確実に増えていると共に、ロング利用の方に関しては、確実に入居サービスへとつなげていくことが出来るように支援することも出来た。しかし、利用稼働率は不安定で、特に、1月と2月には、インフルエンザの流行から、3週間程、利用者の受け入れを中止する期間をとる必要が出てしまったことは、非常に大きな痛手となってしまった。日常の中でのリスク管理の必要性を感じた期間であった。

デイサービスについては、平成27年度より、利用定員を15名から20名へと変更し、初年度よりも多くの方にご利用頂くことができた。サービス内容に関しても、外出行事やイベントを充実させることで、利用者様に満足して頂けるように努めることが出来た。数多くの居宅介護支援事業所の方から、ご利用者を紹介していただくことが出来るようになったことも、大きな成果であったと思う。しかし、当日ご利用予定の方が急にお休みされるなど、登録利用者はかなり増えたにもかかわらず、利用稼働率は安定しない状況が続いてしまった。

居宅介護支援事業所に関しては、平成27年12月1日に、より地域の方の在宅生活を支えることが出来るようにと開所したが、なかなか利用者が増えない状況が続いている。

開設2年目は、新たに居宅介護支援事業も起ち上げ、より地域の方のお役にたてる

よう、体制は整えることが出来た。しかし、今後は一つひとつのサービスの質を高め
ていき、地域の方に選んでいただけるように、取り組んでいく必要がある。



2. 法人事業概要

(1) 法人名 社会福祉法人太鷲会(たいしゅうかい)

(2) 所在地 兵庫県姫路市東山577

(3) 設立認可年月日 平成25年4月25日

(4) 理事長 大西 修二

(5) 法人事業

介護老人福祉施設 特別養護老人ホームうさぎ
定員29名
平成26年4月1日事業開始

認知症対応型共同生活介護 グループホームうさぎ
定員18名
平成26年4月1日事業開始

短期入所生活介護 ショートステイうさぎ
定員10名
平成26年4月1日事業開始

通所介護 デイサービスセンターうさぎ
定員15名 平成26年4月1日事業開始
平成27年4月1日より、定員20名へ変更

公益事業

居宅介護支援事業所 居宅介護支援事業所うさぎ
平成27年12月1日事業開始
(事業所所在地) 姫路市東山1244

その他事業 なし

3. 理事会状況

平成27年度理事会実施状況

第1回 平成27年5月31日(日) 16時00分～16時30分
参加6名 理事定員6名
監事2名 事務局3名

(議題) 平成26年度事業報告(案)

平成26年度決算(案)

評議員交代(案)

(報告) 現況について

居宅介護支援事業所開設準備について

夏祭りの開催について

第2回 平成27年10月3日(土) 13時30分～14時10分
参加(6名) 理事定員6名

(議題) 評議員交代 (案)

第3回 平成27年10月3日(土) 14時30分～15時00分
参加(6名) 理事定員6名

(議題) 定款変更 (案) について *居宅介護支援事業所追加のため
居宅介護支援事業所運営規定 (案) について

(報告事項) 現況について

居宅介護支援事業所開設準備状況について

夏祭り実施報告

第三者委員変更について

居宅介護支援事業所事務所契約について

第4回 平成27年11月23日(月) 13時30分～14時00分
参加(6名) 理事定員6名

- (議題) 人事考課規定第1版(案)について
経理規定第3版(案)について
*居宅介護支援事業所開設に当たり、公益事業の追加の為
居宅介護支援事業所うさぎ予算(案)について

第5回 平成27年12月26日(土) 16時00分～17時00分
参加(6名) 理事定員6名

- (議題) 平成27年度第1次補正予算(案)について
経理規定第4版(案)について
*中科目の勘定科目の訂正
特定個人情報取り扱い規程(案)について
JKA補助金確定及び購入業者決定について
(報告) 居宅介護支援事業所うさぎ現況について
平成27年度姫路市監査結果報告について

第6回 平成28年2月6日(土) 16時00分～16時15分
参加(6名) 理事定員6名

- (議題) 苦情解決第三者委員変更について
デイサービス定員増員(案)について
*平成28年4月1日より、20名から25名へ変更
デイサービス運営規定(変更案)
(報告) デイサービス重要事項説明書(変更案)について

第7回 平成28年3月24日(木) 17時30分～18時15分
参加(6名) 理事定員6名

- (議題) 平成27年度第2次補正予算(案)について
平成28年度事業計画(案)について
平成28年度予算(案)について
デイサービスうさぎ 利用定員・利用料金及び運営規定(変更案)
寄附の受け入れについて
(報告) 現況について

4. 評議員会状況

平成27年度 評議員会実施状況

第1回 平成27年5月31日(日) 16時40分～17時20分
参加13名 評議員定員13名
監事2名 事務局3名

(議題) 平成26年度事業報告(案)
平成26年度決算(案)

(報告) 現況について
居宅介護支援事業所開設準備について
夏祭りの開催について

第2回 平成27年10月3日(土) 14時00分～14時30分
参加(13名) 評議員定員13名

(議題) 定款変更(案)について *居宅介護支援事業所追加のため
居宅介護支援事業所運営規定(案)について

(報告事項) 現況について
居宅介護支援事業所開設準備状況について
夏祭り実施報告
第三者委員変更について
居宅介護支援事業所事務所契約について

第3回 平成27年12月26日(土) 15時00分～16時00分
参加(13名) 評議員定員13名

(議題) 平成27年度第1次補正予算(案)について

(報告) 経理規定第4版(案)について
*中科目の勘定科目の訂正
特定個人情報取り扱い規程(案)について
JKA補助金確定及び購入業者決定について
居宅介護支援事業所うさぎ現況について
平成27年度姫路市監査結果報告について

第4回 平成28年3月24日(木) 18時30分～19時00分
参加(13名) 評議員定員13名

(議題) 平成27年度第2次補正予算(案)について
平成28年度事業計画(案)について
平成28年度予算(案)について

(報告) 現況について

5. 職員状況

<平成28年3月31日現在>

デイサービス：常勤7名 非常勤4名

特別養護老人ホーム：常勤13名 非常勤8名

ショートステイ：常勤4名 非常勤1名

グループホーム：常勤13名 非常勤2名

居宅介護支援事業所：常勤1名

本部：常勤5名 非常勤1名

<全体>

男性：14名

女性：45名

正職員：36名

パート：23名

6. 職員会議

当法人では、職員間の情報交換・介護感の統一等を行うために、月に一回以上の各部署・ユニット毎による会議を行っている。会議では、入居者・利用者の現状の共通理解を図ると共に、介護方法の見直しや、行事の立案などを行っている。

(具体的な介護内容)

《各部署・ユニット会議》

1回/月 以上

- ① 翌月の部署・ユニット行事の準備について
- ② 入居者様の状態について
 - *介護方法の統一等
- ③ コスト面について
 - *ユニット金の取り扱い
 - *入居者預り金の取り扱い
 - *光熱費のムダがないかの確認等
- ④ サービスの統一について
 - *部署・ユニット内でのサービス内容についての統一
- ⑤ 他部署・他ユニットとの連携について

《リーダー会議》

2回/月 以上

特別養護老人ホーム・ショートステイの、管理者・生活相談員・ケアマネ・管理栄養士・看護師・ユニットリーダーが参加し会議を開催している。

ユニット間の情報交換や、各々の課題を明確にし、協力体制の強化に努めている。

その他、リーダー会議では、月日が経つことにより介護の質が低下しないように、毎回施設長より、現状のサービスの改善点や新たな取り組みを促すよう、働きかけを行っている。

また、必ず現状で評価できる部分は必ず言葉として伝え、職員の意欲の低下を防げるようにしている。

7. 委員会活動

当法人には、法人内のサービスの質の向上や施設内のマニュアルの作成、研修の計画等の為に各種委員会活動を行っている。

各委員会は以下の通りです。

(1) 入居判定委員会

当法人の、特別養護老人ホーム・グループホームへ入居申し込み頂いた方の入居判定を行う。入居判定は、入居申し込み頂いた方の状況を客観的な判断基準の下、点数付された物を、入居待機者名簿に記載した上で、入居待機者の中から、次期入居者候補を10位まで決定するものである。

(2) 身体拘束廃止委員会

身体拘束について、法人内で行っていないか等を委員会の場で検証し、もし必要な状況で行う必要がある場合は、委員会の場で話し合いを行い、実施を決定している。実施した場合であっても、定期的にその状況をモニタリングし、必要性を考察していく。

(3) リスクマネジメント委員会

法人内の各サービスで、提出された事故報告やヒヤリハットの検証を行い、リスク回避が出来るように努めている。また、それ以外にも、転倒等のリスクが高い方への対応方法などの検証を行っている。

(4) 褥瘡対策委員会

褥瘡に対する予防と対策等を、委員会として検討し、法人内での取り組みに反映させている。また、実際に褥瘡がある方に対しての対応等を検証し、モニタリングしていく。

(5) 感染予防対策委員会

感染マニュアル等の見直しや、施設内の感染対策の実施状況等を把握し、法人内で感染症が蔓延しないようにしている。

(6) 給食委員会

施設内の食事に対して、委託業者と現場職員が会議を行い、入居者様の食事に対する思いなどを伝え、食事の質の向上に努めている。

また、食事の提供方法なども検討し、内容以外の部分でも質を向上できるように努めている。

(7) 行事委員会

法人全体行事の企画・実施を行い、入居者・利用者の楽しみつくり努めている。

(8) サービス向上委員会

各サービスでの苦情などを収集し、同じことを繰り返さないように周知徹底している。

また、接遇面など、サービスの質に対して、各部署・各ユニットの現状を把握し、向上を促すことが出来るようにしている。

《委員会活動を通して》

各委員会は、委員長・副委員長を中心に活動を行っている。

施設内の現状を共通理解する場としても、とても有意義に活動が出来ている。

今後は、活動内容が法人の職員全員に周知徹底できるような仕組み作りが、さらに重要となってくる。

8. 職員研修実施状況

(全体研修)

オムツ研修会 安心安全な移乗介護(スライディングボード)
事業計画発表会
ポジショニング研修会
ユニットケア研修

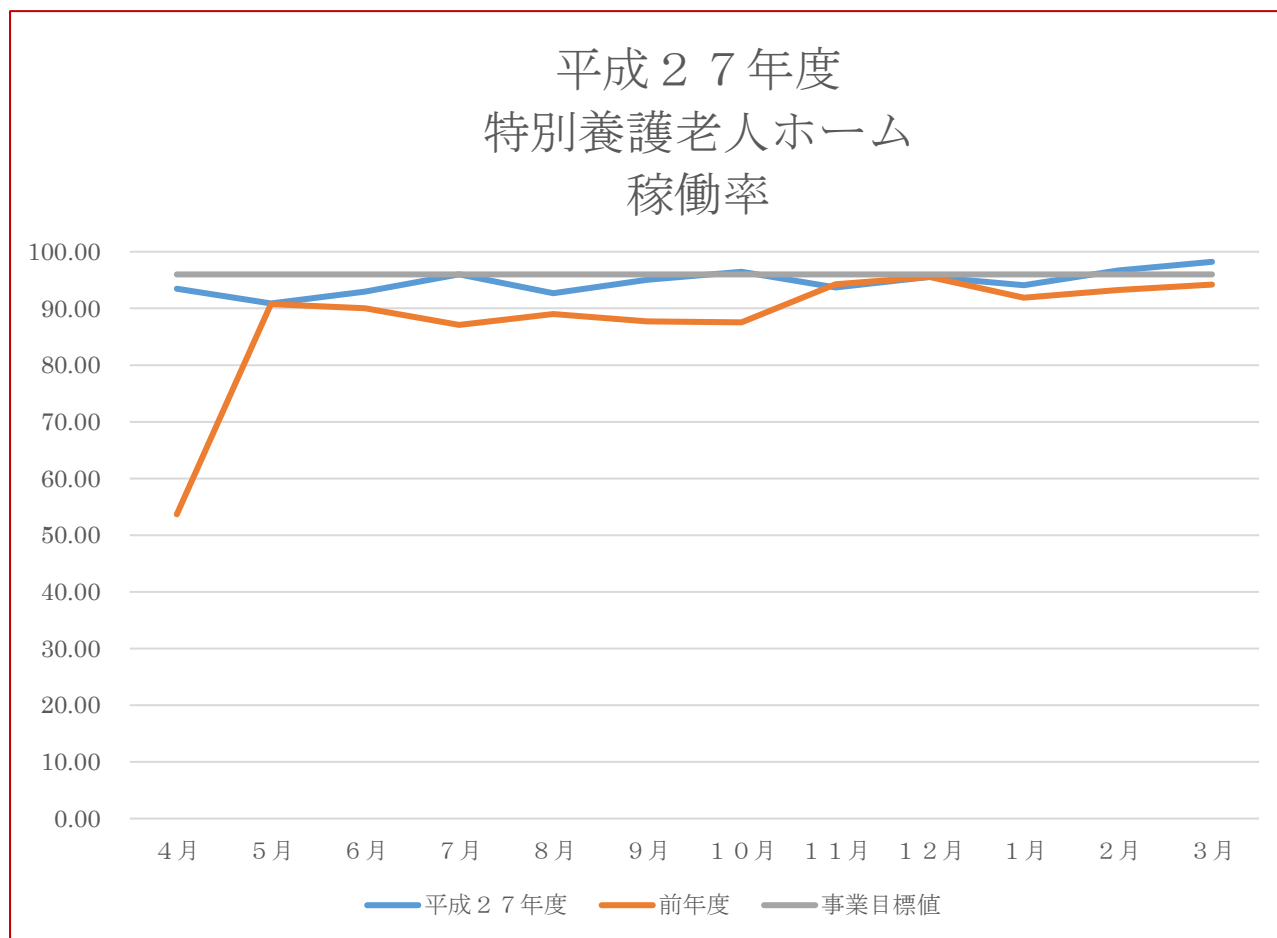
(個別研修)

認知症介護実践者研修 認知症介護管理者研修 認知症管理者研修
社会福祉施設長研修 ユニットケアフォローアップ研修
喀痰吸引研修
認知症と向き合う暮らし 介護技術研修 摂食・嚥下障害者の食事支援
看取り研修 自立支援につなげるアプローチ研修
ADLの自立を促す環境調整 口腔ケア研修 新任職員研修

その他

法人として、職員のスキルアップのために、個別研修への参加を積極的に促しています。参加して得た知識を、他職員に伝え、全体として向上するように努めています。

9. 特別養護老人ホームうさぎ事業



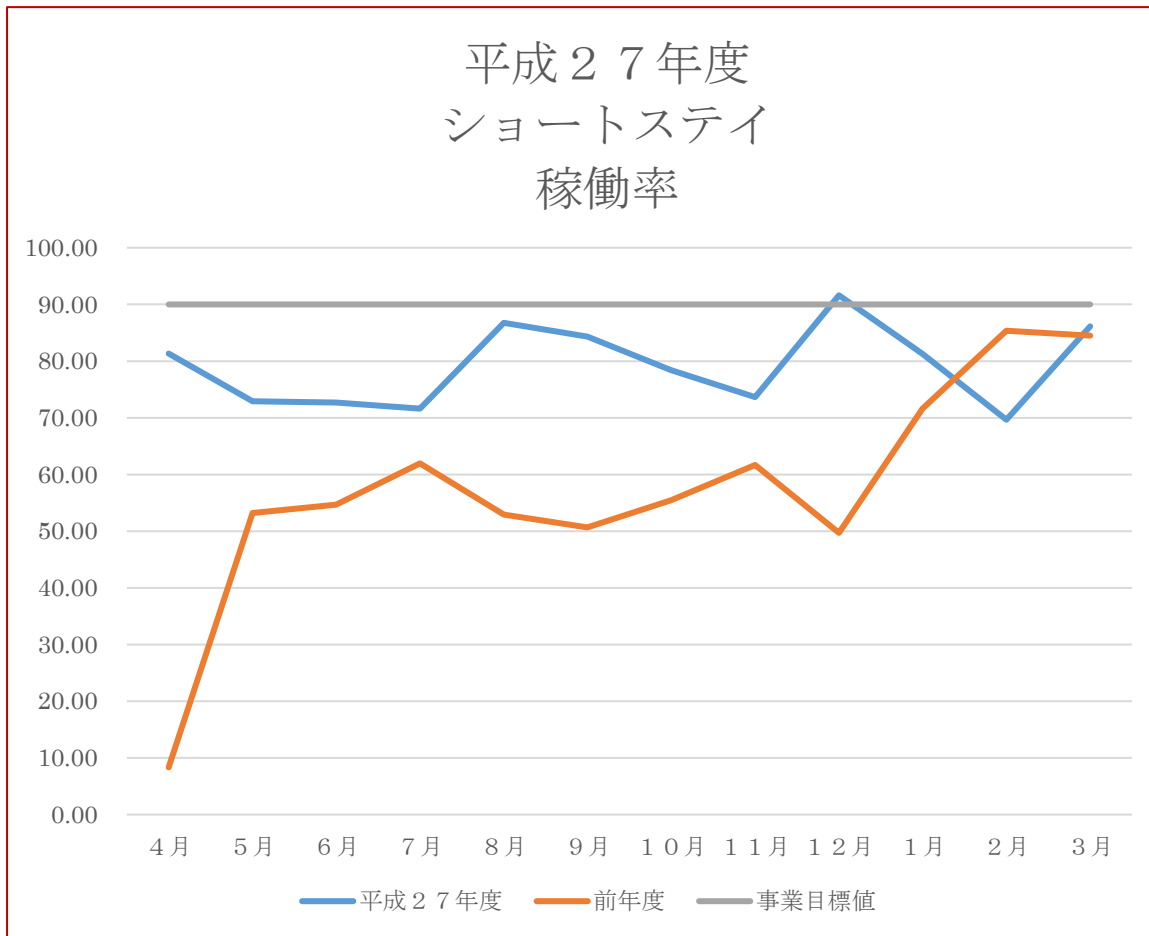
《平成27年度 年間平均稼働率》	《平成27年度 入居者平均介護度》
特別養護老人ホーム 94.64%	特別養護老人ホーム 要介護3.59

特別養護老人ホームは、様々なイベント(お花見・買い物・昼食作り・お菓子作り・ドライブ・夏祭り等々)を実施し、入居者様の生活の中に、沢山の楽しみと刺激を提供できるように努めました。また、7月には家族会を開催し、入居者様やご家族と積極的に交流を図り、入居してもご家族と繋がっている事を実感していただけるようにしています。

日々の生活の中で、残念ながら事故(転倒等)で怪我をされた方もおられましたが、その際の対応も迅速に丁寧に行うことが出来ました。

稼働率に関しては、なかなか高い値で安定はしませんでした。入居者様に辛い思いをさせないようにする事と、長期入院となりご家族にも負担をかけないように、早目の受診をしていることで、短期間の入院が増え稼働率の不安定さに繋がってしまいました。

10. ショートステイうさぎ事業



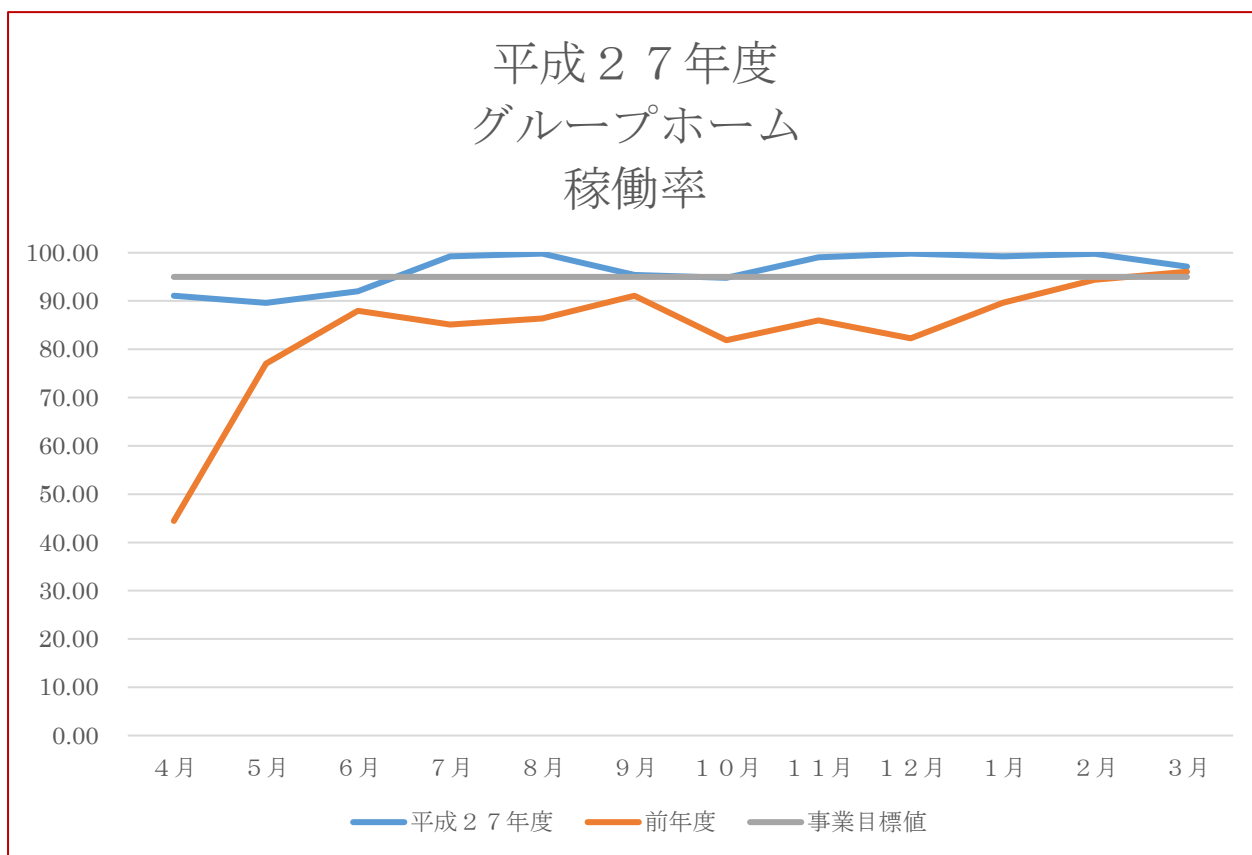
《平成27年度 年間平均稼働率》	《平成27年度 入居者平均介護度》
ショートステイ 79.20%	ショートステイ 要介護2.76(3月実績)

ショートステイは、利用者数は増え、利用者様やご家族。ケアマネジャー様から評価していただけるようになってきました。しかし、事業目標値の常時稼働率90%を超えるという目標には及ばず、まだまだ不安定な状況です。

日々のサービスの中では、ユニット型のショートステイであることから、「ただお泊りいただくショートステイ」ではなく、「楽しみの多いショートステイ」として存在できるように、様々なイベント（お菓子作りや昼食作り、ドライブ等々）を実施し、利用者様に楽しい思いと刺激を提供できるように努めています。

サービス利用後には、必ずご利用者様、ご家族様にお手紙をお送りし、ご利用後の様子などにも配慮しております。

1 1. グループホームうさぎ事業



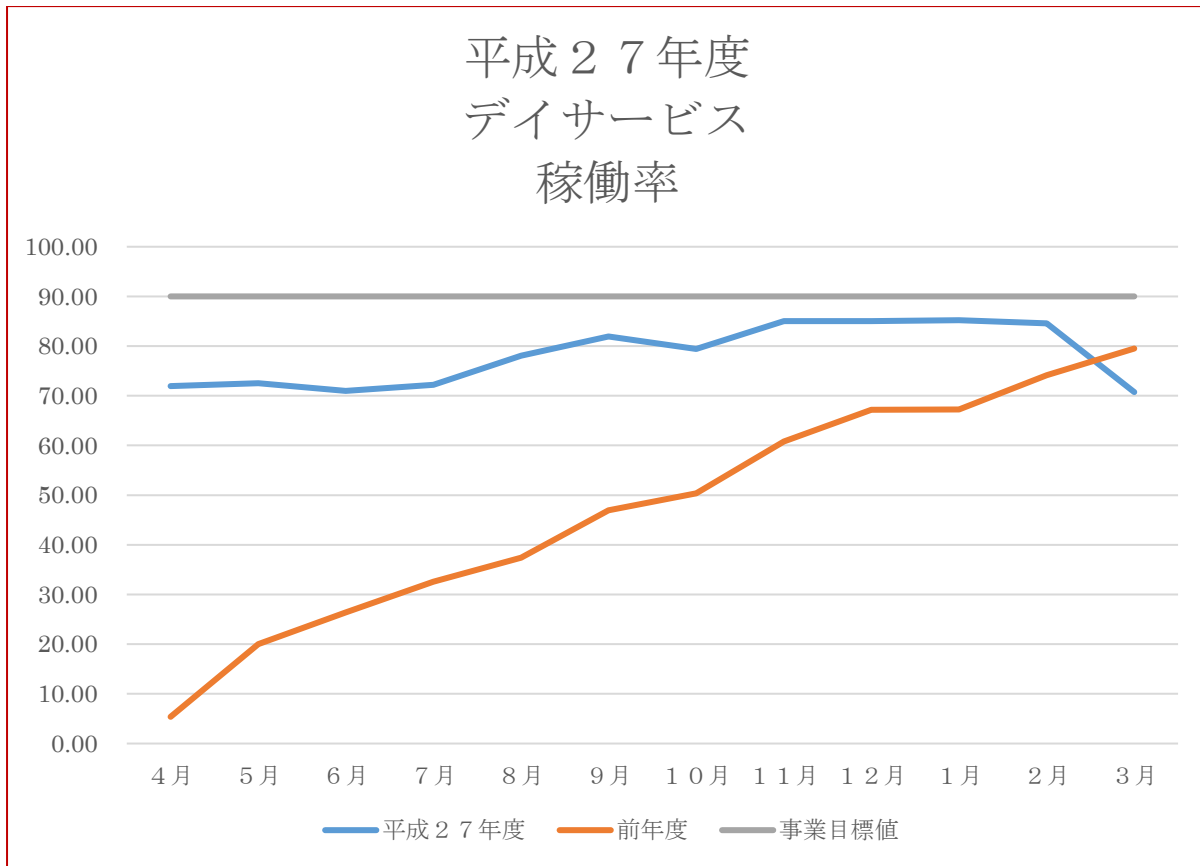
《平成27年度 年間平均稼働率》	《平成27年度 入居者平均介護度》
グループホーム 96.43%	グループホーム 要介護2.22

グループホームは、入院された方も少なく、ほぼ稼働率も安定した状態で運営することが出来ました。退居された方は4名おられました。内3名は特養（他所も含む）への入居であり、1名の方は大病を患われての入院でありました。日々のサービスの中で、嘱託医や訪問看護との連携を密に取っている事も、稼働率の安定に繋がったのだと思います。

日々のサービスの中でも、様々なイベント(お菓子作り・昼食作り・ドライブ・買い物等々)を充実して行ったことはもちろんの事、その日その日の、「どこかに行きたい」「あれを食べたい」等の思いに出来る限りこたえることが出来るように、柔軟に対応することが出来ました。

より家庭的であり、入居者様やご家族様に安心した環境を提供できるように、努めることが出来ました。

12. デイサービスうさぎ事業



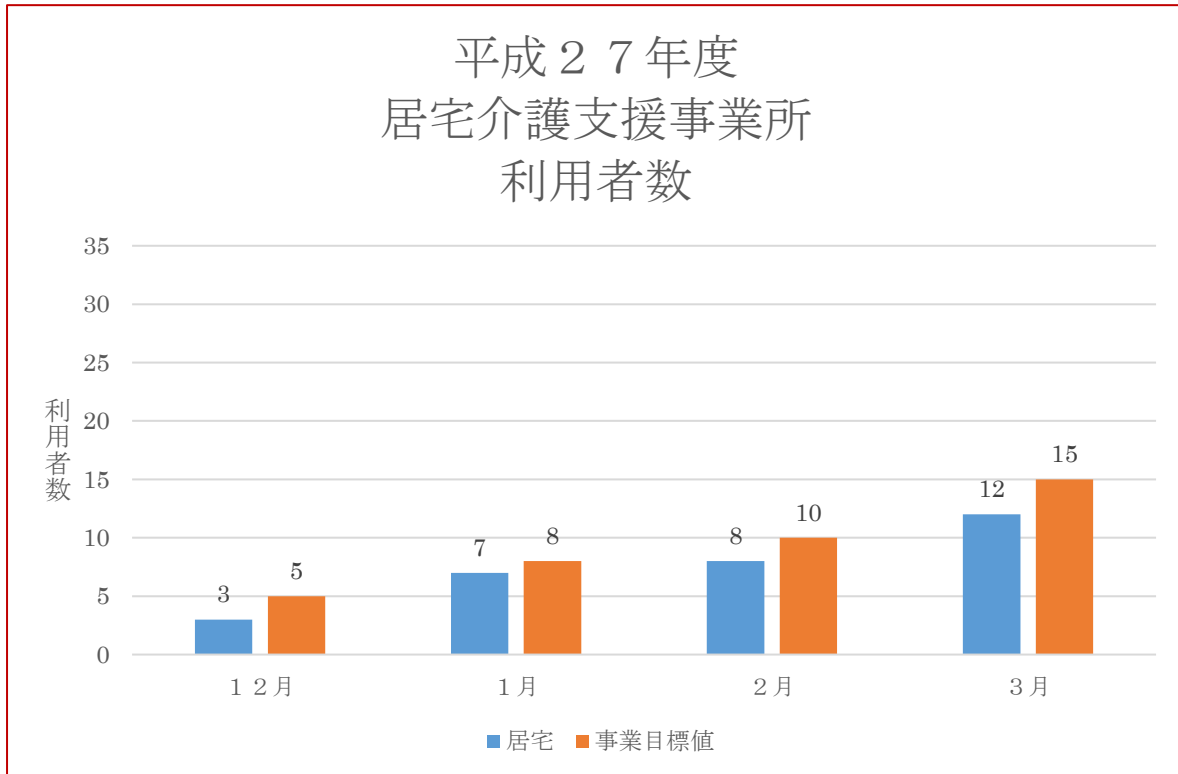
《平成27年度 年間平均稼働率》	《平成27年度 入居者平均介護度》
デイサービス 78.13%	デイサービス 要介護2.2

デイサービスは、平成27年4月1日より、15名/日から20名/日へと、定員を増員しましたが、利用希望者も順調に増え、平成28年3月31日時点で、利用者数も65名と前年度より大幅に増やすことが出来ました。デイサービスにおいては、週1回からのご利用の方が多く、利用者様・ご家族・ケアマネジャー様からもご評価いただき、利用回数を増やしていただくことが出来ました。

デイサービスうさぎは基本テーマである、「個を大切に」「無理せず気軽に利用できるデイサービス」であるよう、サービス内容についても、ご利用者様にご要望をお聞きしながら、様々な行事やレクリエーションを展開することが出来ました。

今後は、利用者様に出来る限り在宅生活を継続していただけるよう、下肢筋力低下の予防と認知症の進行予防など、サービス内容の充実と、より専門性を発揮したサービスを提供できるように努めていきます。

13. 居宅介護支援事業所うさぎ事業



居宅介護支援事業所は、目標値に達していない現状で、まだまだ地域の方に認知されていない状況であるため、地域の病院や地域包括支援センターなどに積極的に向き、新規利用者の確保に努めている。

また、地域の現状を知るために、地域包括主催の勉強会などにも参加している。